

福岡中学校で「命の大切さを伝える授業」を行います

本校生徒の保護者で、中津川市民病院救命診療科看護師でDMA T隊員でもある比嘉徹(ひが てつ)さんを講師に招き命の授業を行います。

ドクターカーで対応した事例や、最近流行している感染症に関わる事例について、実際に対応した話をしていただき命の大切さを学びます。

■日 時 令和2年7月17日(金) 14時55分～15時45分

■場 所 中津川市立福岡中学校 各教室(TV放送)(中津川市福岡1番地8)

■活動者 生徒：全校生徒186人
代表者名：伊藤晴貴(生徒会長)

■活動内容 14:55～14:57 はじめの言葉
14:57～15:00 講師の紹介
15:00～15:40 比嘉さんの講話
15:40～15:43 生徒代表、お礼の言葉
15:43～15:45 おわりの言葉

■その他 学校長：田口勝幸(たぐち かつゆき)
全校生徒 186人

■お願い 1 マスクの着用をお願いします。
2 撮影中はできるだけ、私語厳禁をお願いします。
3 生徒へのインタビュー等は、十分な距離をあげ短時間でお願いします。

お問い合わせ先

福岡中学校 担当者：教務主任 曾我 敏正

電話：0573-72-2006